若栗小学校いじめ防止基本方針（概要）

※随時見直しを行い、改善を図っていきます。

1 若栗小学校いじめ防止基本方針について

（1）目的

いじめは、いじめを受けた子供の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長や人格の形成に重大な影響を与えるだけでなく、生命または身体に重大な危険が生じさせるおそれがあります。

黒部市立若栗小学校は、学校や家庭、地域が連携し、いじめ防止対策推進法、いじめ問題に対する基本的な考え方、富山県いじめ防止基本方針、黒部市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防止やいじめの早期発見・対応のための対策を総合的かつ効果的に推進するため「若栗小学校いじめ防止基本方針」を策定し、適宜改善を図りながらいじめ防止に取り組みます。

（2）基本的な考え方

いじめの本質は「人間虐待」である。
だからいじめは許されないのである。
被害者の傷は深く、人間性まで破壊していく行為である。
この認識がなければ、いじめに対する対応の甘さが残り、結果として心の底からの反省がなく、根本解決が困難になる。
いじめを放置して、優れた学校行事や優れた授業などあり得ない。
人間は本来、人を思いやる優しい心をもっています。
その優しい心を表す勇気をもたせましょう。

児童の出すサインを確実に受け止めるために、日頃から教職員と児童、児童相互、教職員相互、保護者と教職員等との間に温かい人間関係をつくることに努めます。

- 校内にいじめを許さない雰囲気をつくる。
- 児童と教職員が共に人権感覚を高める。
- 温かい人間関係を築く。
- 家庭・地域社会・関係諸機関との連携を深める。
- 早期に発見し、的確な指導を行う。

※「若栗小学校いじめ防止基本方針（概要）」については、保護者に配付するとともにHPでも公開し、学校・家庭・地域が連携し、「いじめ見逃し0」を目指します。また各学期に学校行事や学校生活に関連して、「課題・視点・方策」を設定し、点検・評価を進めます。

2 いじめ問題の対応について

（1）方針

- ① いじめは、どの学校にも、どの学級にも、どの児童にも起こりうるものであるという基本的認識に立って、指導にあたる。
- ② いじめの問題の重大性を全ての教職員が認識し、校長を中心に組織として、この問

題の解決にあたる。

- ③ 教職員の言動や態度が、いじめの問題や児童の心に大きな影響力をもつことを認識する。
- ④ いじめの問題は隠さず、その解決に向けて、学校・黒部市教育委員会と家庭・地域社会が連携してあたる。
- ⑤ いじめが解決したと見られる場合でも、十分に注意を払いながら継続して指導・相談にあたる。
※「解消」とは、行為が3か月継続して止んでおり、かつ被害児童・保護者の面談で心身の苦痛を感じていないと認められる場合である。
- ⑥ 家庭や地域社会に対して、いじめ問題の重要性の認識を広め、連携して、いじめの問題の解決を図る。

(2) 学校の指導体制 ※ □は、学校のチェック欄

- 児童に「いじめとは下記の行為」であることを具体的に指導し、未然防止、早期発見・対応に力を注ぐ。

- ① 冷やかしたりからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンやタブレット、携帯電話、オンラインゲーム等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

- いじめに関する研修を深め、問題の要因や指導方法等について共通理解を図る。
- いじめの兆候が見られた場合、「いじめ対策プロジェクトチーム（学校いじめ対策組織）」で迅速に組織的な対応を行う。
- 児童や保護者が気軽に相談できる学校全体の雰囲気づくりに努める。
- いじめの事実関係の把握については正確かつ迅速に行う。その際、個人情報の取扱については十分留意する。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフとの連携を密にするとともに、学校における相談機能の充実を図り、いじめの早期発見・早期対応に努める。
- 日頃から教職員が児童に関する情報を共有し、学校全体で連携していじめの予防や早期対応に努める。

(3) いじめの未然防止に向けた指導

- 学校の出来事が家庭での話題となるように、児童にとって楽しい学校・学級づくりを進める。
- 児童に思いやりの心を育む道徳教育の充実を図る。
- 他を思いやる心を育む人権教育の充実を図る。

- 「花とみどりの少年団」の活動等を通し、植物をはじめ、自他の生命を大切にすることを育てる。
- けんかやふざけ合い等であってもいじめに該当するか否かを見極める。
- 道徳の授業や特別活動等を通して、児童が自主的にいじめ問題に関して議論すること等のいじめ防止に資する活動に取り組む。
- インターネット上の言葉のやり取りが重大な人権侵害につながる可能性があることを理解させるため、インターネット安全教室等に積極的に取り組む。
- i-check 調査等を利用し、学級内での人間関係の把握と改善に向けた取組を行う。
- いじめが生まれる背景等を考慮・理解し、細心の注意を払い指導する。

(4) いじめの早期発見・対応に向けた取組

- 日頃から児童が発する危険信号を見逃さないようにアンテナを高くし、いじめの早期発見に努める。
- 児童が悩みを相談しやすいよう、タブレットによる相談窓口を設定する。
- 定期的に児童及び保護者にいじめ調査（生活アンケート）を実施するとともに、個人面談を通して児童の悩みや保護者の不安を積極的に受け止める。

① アンケート調査の実施

- ・年に3回、記名または無記名による「いじめ・生活に関わるアンケート」を実施する。（6月・11月・2月）そして教育相談に役立てる。
- ・学校評価の保護者アンケートに、いじめに関する項目を加えて実施する。（7月・12月）

② ネットトラブルの早期発見・対応

- ・黒部市教育センター等、関係機関から「爆サイの掲示板」等への不適切な書き込みがあった場合には迅速に対応する。
- ・ネットパトロールを用いて書き込みのチェックを行う。発見した場合は、関係機関に報告する。

(5) いじめが発覚したときの対応

- 1 迅速に動く（その日のうちに）
- 2 組織を生かす（対応策の協議）
- 3 正確な記録と分析を行う（正しい判断）
- 4 教育委員会と連携する（記録の累積と整理）

① 学校及び学校の教職員

基本理念に基づき、保護者、地域、関係機関と連携を図りながら、学校全体でいじめの未然防止等の対策に取り組むとともに、児童がいじめ（軽微なトラブル等を含め）を受けていると思われるときは、適切かつ速やかに「いじめ対策プロジェクトチーム」を活用し、組織的に対応する。

② いじめられている児童に対して

- どうしてほしいのか、意思の確認をしながら今後の対応を一緒に考える。
- いじめが解消するまで、また、解消してからも徹底して守り通すという強い気

持ちを伝える。

- 児童に寄り添い、いじめられている状況やつらい思いを親身になって聞く。
- 本人の活躍を認め励ますことによって、自信や存在感をもたせる。
- ③ いじめている児童に対して
 - 加害者の言い分をしっかりと聞くとともに、いじめられている児童の気持ちに着目させ、いじめが相手をどれだけ傷つけ、苦しめているかに気付かせる。
 - いじめた児童が抱える問題など、いじめの背景にも目を向け、本人の安心・安全・健全な人格の発達に配慮する。
 - いじめの状況に応じて、一定の教育的配慮の下に指導する。場合によっては出席停止や警察との連携による措置も含めた対応を考える。
- ④ 学級の児童に対して
 - 見て見ないふりをするのは、いじめの助長になることに気付かせる。
 - いじめを発見したら、教師や友達に知らせ、すぐにやめさせることを徹底する。
 - 友達の言いなりにならず、自らの意志で行動することの大切さに気付かせる。
 - 一人一人をかけがえのない存在として尊重し、安心して生活できるようにするとともに、児童相互の温かな人間関係を築く。
- ⑤ 保護者との面談 ー連携強化を図るためにー
 - 保護者の悩みや気持ちを真摯に受け止め信頼関係を深める。
 - 事実を正確に伝え、家庭での対応の仕方、学校との連携について話し合う。
 - 相談機関等について、積極的に情報提供を行う。
 - 状況に応じて、関係諸機関と連携を図るように働きかける。

3 重大事態への対応について

(1) 重大事態とは…

- ① 児童が自殺を企図した場合
- ② 身体に重大な傷害を被った場合
- ③ 金品等に重大な被害を被った場合
- ④ いじめによる転学等を余儀なくされた場合
- ⑤ 「いじめが要因ではないか」と思われる理由で、30日以上学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合（この日数は目安である。児童が一定期間連続して欠席をしている場合も迅速に調査に着手する。）
- ⑥ 児童や保護者から「いじめにより重大な被害が生じた」という申し立てがあった場合

(2) 重大事態が発生した場合

★ 重大事態が発生した場合、学校（校長）は次の三つのことを行う。

- ① 教育委員会に報告する。
- ② 教育委員会と相談しながら、対応する。
- ③ 当該重大事案に係る調査を行うための組織を速やかに設置する。

ここに示したものは、若栗小学校いじめ防止基本方針の概要です。全教職員で、いじめの未然防止や早期発見・早期解決に努めます。保護者・地域の皆様のご協力をお願いいたします。